

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	21	学校名	榛生昇陽・宇陀高等学校
----	----	-----	-------------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	子ども園交流
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	地域の子ども園との交流を本校こども・福祉科保育幼児教育系列生徒の学習活動の実践の場と位置づけ、子どもたちとのふれあい体験を通じて、子どもへの理解を深める。
連携・協働相手	榛原北保育園、大宇陀こども園、しらゆり保育園
地域と共有している目標・課題等	子どもたちの健やかな成長を見守る心を育てることを目標に置いた。 将来、保育現場に立ったり、親として子育てをしたりする可能性をもつ高校生の「子育て支援」に通じる活動と位置づけた。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	地元の保育園児を招く「招待交流」として実施した。ふれあい遊びを通じて園児の好奇心を引き出す働きかけ方を学んだり、「さつまいも掘り」体験を通じて育てた作物をおいしくいただく楽しみを子どもたちと共有したりした。

2. 事業の成果と課題

<p>【成果】</p> <p>当日を迎えるまでの準備段階では余り積極的でない生徒も見られたが、実際に自分たちが育てた作物や制作物、企画した遊びなどに園児が喜んでくれる姿を見て、取り組んで良かったという感想が多く見られた。また、次回の活動準備に向けて否定的な発言などが減り、生徒自ら取り組む姿が多くなった。</p> <p>児童と触れあうことで、保育士を目指したいという意志が強くなり、真剣に進路を考えるようになった。また、児童とのふれあい経験が何度かあったため、保育実習に行く際も積極的な実習への取組が見られた。</p> <p>【課題】</p> <p>雨天時や猛暑などで、活動内容が制限されてしまう。その代替りの案まで企画するのはまだ高校生では難しかった。</p> <p>芋畑の管理はかなり大変であった。生徒も授業があり、職員も仕事をしながら畑を管理することは難しい。</p>

